ね Oryza sativa L. ハ刈り取ツタ株カラ芽ヲ出シテ開花結實スルガ、ソノ収穫量ハ甚ダ少イ。臺灣ナドデ2同以上收穫スル所デモ、新ラシイ實生ノ苗ヲ植エ、刈株カラノ芽ハ用イヌト聞イタ。一年デ老衰スル材料ニナルト考ヘラレル。

補**說 2.** いちやう Gingko biloba L. ノ義枝が壽命ヲ保持スル説 [早田文藏:植物分類學 I, p. 145. 元東北大學ノ Mousca 博士談轉載]

一般=いて5/幼木ハ結實シナイガ、老齢=達スレバ非常=澤山=結實スルモノデアル。 ソコデ、コノ老樹カラトツタ枝ヲ幼木=接木スレバ、コノ幼木ハ二・三年ヲ經テ相當=成長 シテ立派=結實スル様=ナル。然シソレ以上=ハ決シテ生長シナイ。結局大キクナラナイ 中=枯死シテシマフ。

## 補說 3. 義枝ハ臺木ノ個性ヲ受ケヌ例

(1) なつみかんハからたち=、かいどうハすぐり=、ごえふまつハくろまつ=接木スル ガ義枝ハ臺木ノ性質ヲ表サナイ。(2) 甚シイ例トシテ型=柿ヲ接イダモノガ咲分=ナツ テキルト云フガ、ドチラモ影響ハ蒙ラナイ。

## 断 枝 片 葉 (其六十七)

牧野富太郎

Tomitarô Makino: Miscellaneous Notes on Plants (LXVII)

〇ひつじぐさノ花ハ何時ニ開キ何時ニ閉ヅル乎 昭和八年九月十三日山城巨椋池デ睡蓮即チひつじぐさ Nymphaea tetragona Georgi var. angusta Casp. subvar. orientalis Casp. ノ花ノ開閉ヲ實檢センガ爲メ十二日=大阪ノ日下楢太郎君ト相携へ同市カラ巨椋池附近ノ向島=赴イタ(大阪天滿驛カラ電車=乗リ山城ノ觀月橋デ下車)。 其晩ハ 向島町向島小學校長竹內敬君ノ宅=宿シ翌十三日午前四時起床朝食ヲ了テ同五時日下君ト共=船頭一人ノ小舟=棹サシテ巨椋池ノ湖心=向フタ、湖岸ノ草木ハ淡墨畫ノ如キ薄明リデ下弦ノ月ハ天半=懸リ星斗尚ホ光リアリキ、湖岸ヲ離レシー葉舟ハ遠ク湖面=造リテ定住スレドモ東方ノ連山上=靉ケル朝雲南北=亙リテ朝暾未ダ出ズズ待ツコトー時間許雲背ノ旭日漸ク躍出シテ陽光條チ洽ネク湖面ヲ照シタ、待ツコトニ三時ナレドモ舟ノ前後左右=在テ遠近=散在セル陸連花ハ其綠萼ヲ固ク閉シテ依然トシテ朝來ノ姿勢ヲ變ゼズ更=微動ダモスルコトガナイ。六時七時八時九時十時十一時十二時ノ久シキ之レヲ凝視スルモ微シモ何ノ變リタルコトヲ認メ得ナイ、時ニ日輪漸ク高ク中天=昇リ滿天解駁ノ雲ハアレド、湖面ヲ度リ來ル微風ハアレド日

光頭上ト身邊トヲ射テ舟中ノ暑熱漸ク堪へ難イ、十二時即チ正午ヲ過グル正ニ 十分=至テ其綠萼少シク解クルヤ次デ次第=開キ午後二時=至リ殆ンド正開シ 遠近ノ花皆葩ヲ展ベル=至ツタ、午後三時=及ベバ後レタ花モ皆滿開シ此時ガ 最モ其正開ノ極デアル、其レヨリ引キ續イテ午後四時半頃マデ之レヲ見詰メツ 、舟中=在リシガ食事ノ爲メー時上陸シタ、前記ノ通リ朝四時=朝食ヲ執リシ 後此ク晩クマデ食ハズ飲マズー日間ヲ日=照ラサレシヲ以テ多少身體ガ緩ミ、 ソシテ額モ頸モ日光ノ直射デ 黑赤ク焦ゲタ、然シ斯ク殆ンド十二時間舟上デ ジット睡蓮花ト根比ベヲシタ事モ亦近來ノー快事ノミナラズ 尚吾等ハ此レ位ノ 苦業=ハ堪へ得ルト云フ自信ガ出來タ譯ダ、食後午後五時半再ビ舟シテ湖=出 ヅレバ花ハ已=窄ボミ始メ居リ同六時半デ全ク閉デテシマッタ、ソコデ舟ヲ捨 テテ上陸シ竹內君=對シ宿泊雇舟其他當面ノ厚意ヲ謝シ復ビ觀月橋カラ電車= 乗り大阪=凱旋シタ、竹內君ハワザワザ途中ノ牧方驛マデ見送ラレタ。

はす卽チ蓮ノ花ハ第一日朝新タニ蕾カラ放ラキタニ閉デ第二日ハ朝開暮閉、 第三日ハ朝開イタママ其レナリ其日ノ内ニ其花瓣ガ散落スル、畢竟三日ノ花デアル、睡蓮ノ花モ亦多分蓮ト同様三日開閉ヲ續ケルデアラウガ其點私ハマダ實 驗セヌカラ何トモ言ヘナイ。

ひつじぐさヲ小水溜=種ヱ置ク時ハ往々午前十時頃ニ唉キ午後四時頃ニ閉ヅル事ガアルト聞イタガ是レハ其水量ガ少ナイノデ其レガ太陽ノ爲メ早ク暖マルカラデハナイカト思フ、又水ガ冷メ易イカラ從テ亦早ク其花ガ閉ヅルデアラウト思フ、水ノ温度ハ太陽ノ光ト共ニ大ニ此花ノ開閉ニ關係ガアルデアラウ、深池大湖ノ水ハ中々ニ暖マリ難イカラ從テ花ノ開クノモ遅ク又冷メ難イカラ花ノ閉ヅルモ後レルト思フ、之レニ反シ水少ナケレバ温マリ易ク冷メ易イ故ニ之レニ生エヰル睡蓮ハ早ク唉キ早ク閉ヅルノデハナイカト想像スル。